

篠山市政と活動内容をお伝える

# つながりタイムス

平成29年3月発行(第1号)

篠山市議員 吉田ともよ

・民生福祉常任委員会所属  
・議会改革調査特別委員会所属  
・議会広報特別委員会所属



～ ごあいさつ～

人生最大の決断をし、約10年務めた職場を退職。市議会議員へ立候補をしました。選挙期間中、様々な出会いに助けられ、議員として歩みだすことができました。議員になってからも、人の温かさや繋がりに感謝する毎日です。皆さまからいただいた4年間を無駄にしないために、もっとたくさん声を聞かせていただく機会を作り、政策提案に活かしていく所存です。これからも、市民の皆さまとともに「元気な篠山」のために邁進してまいります。

## 篠山市議員 吉田ともよの 平成28年度 活動報告

皆さまにご協力いただいたおかげでチャレンジ1年目は、非常に意味ある活動を行うことができました。1期議員として、また女性ならではの視点で市議会に新風を巻き起こすべく、日々奮闘しております。

### ① 森林の整備と利活用の提言、および木育の推進

★第106回篠山市議会定例会(9月議会) 一般質問内容

●森林の整備と利活用について

**質問内容** 森林管理100%事業として、間伐事業年間325ha目標に対し平成26年度、27年度ともに目標に達していないが今後どのようなことを施すのか？ また、森林所有者明確化が必要であり明確化事業の実施者を増やす必要があるのではないか？ 次に、森林所有者へのサポートが必要ではないか？

**予算計上されました!**  
ふるさとの森づくり、彩の里山づくり ● 予算額2,540万円  
人工林を皆伐して広葉樹林に転換する森林所有者を市単独事業で支援等



**質問内容** 「里山オーナー制度」を利用する方は市外の方も多く、篠山に魅力を感じ定住する方もいる。定住促進に繋がるのでは？

**予算計上されました!**  
里山整備ボランティア団体組織化基礎調査業務 ● 予算額50万円

●木育と食育とウッズスタート宣言

**質問内容** 「木育」を推進するため、篠山産材を取り入れ子育て支援施設等で推進しては？

**予算計上されました!**

- 1) 篠山チルドレンズミュージアムに篠山産木材を使った大型遊具(記念館整備費含む予算額1,277万円)
- 2) 篠山産木材を用いた木のおもちゃを全公立保育園・幼稚園・こども園に年次計画で導入 ● 予算額224万円
- 3) 新一年生用篠山産木製児童用机イス340組(多紀小を除く) ● 予算額845万円  
新一年生用篠山産木製児童用机天板28枚(多紀小) ● 予算額15万円



### ② 酒井市長に平成29年度の予算要望を行いました

平成28年11月11日予算要望内容

1) 農都創造

全国に誇れる篠山産コシヒカリを主体にしたイベント開催を提案。コンセプトはお米大使を任命するなどして知名度アップ、集落営農啓発、日本遺産SASAYAMAと農都SASAYAMAのコラボ発信

**予算計上されました!**  
「丹波篠山コシヒカリ宣言」篠山米を食べよう市民運動事業  
平成29年秋 お米フェス(仮称)イベント開催予定 ● 予算額89万円

**予算計上されました!**  
ステップアップ集落営農として農業に関わる多様な担い手を育成、確保。また、女性農業者の活躍支援として「女性オペレーター育成事業」実施予定 ● 予算額2,460万円



2) 篠山層群で発見された化石の更なる活用

**予算計上されました!**  
丹波並木道公園内で新設の「太古のいきもの館」等で石割体験イベントや市内全小学校(6年生)を対象とした校外学習プログラムを実施。また、総合案内看板の設置 ● 予算額170万円

3) 史跡篠山城跡整備事業の予算確保

**予算計上されました!**  
内堀復元整備工事 ● 予算額969万円

裏面に続く

この広報は政務活動費を充当して発行しています。

## ③女性が働きやすい職場環境に取り組みました

★第107回篠山市議会定例会(12月議会)一般質問内容

●女性消防士として活躍されている方にスポットを当て、女性が結婚、出産、子育てしながらも、働きやすい環境を整えたいと他市(川西市・北はりま消防本部)へ視察を行うとともに、全国の女性消防士の現状も踏まえて一般質問しました。

**質問内容** 女性消防職員の活躍による消防力の向上を女性が活躍できる篠山市、他市からも就職したいと思われる市にするための環境を整えるべきではないか? まずは、消防本部南出張所の浴室を男女別にすべきでは?



予算計上されました!  
消防本部南出張所女性風呂設置工事の実施 ▶ 予算額116万円

## ④こども食堂への取り組みを推進しました

★第107回篠山市議会定例会(12月議会)一般質問内容

●こども食堂と小さな拠点づくり

**質問内容** こどもたちの孤食や欠食を防ぐとともに、地域や人とのつながりの場として「こども食堂」の事業推進を行ってはどうか?  
●各内容を考慮しながら、必要に応じて運営方法を検討する。

★社会福祉協議会が「冬休み・ささっこ食堂」を開催。現在の状況としては、学校の長期休みは社会福祉協議会で、通常の支援活動は地域展開に向けボランティアの養成や意識向上を図りながら、住民主体で取り組まれる方向です。



## ⑤篠山産特産品PR活動

篠山が誇る特産品のさらなる知名度アップを目指して市内外へ——市民のみならずと普及活動をともししています。イベント出店のサポートだけでなく、丹波篠山ご当地グルメ推進委員会のサポーターとして『篠山まるごと丼』の応援もしています。



### 1 子育て支援・若者の定住促進

「元気な篠山」にするためには、子育て支援と若者の定住促進が不可欠です。子育て支援では国・県と連携し、幼稚園・認定こども園、保育園ともに第二子以降の保育料無償化を進めるなど、子育てしやすいまちづくりを目指します。また、若者の定住促進では篠山市の魅力発信し、古民家や空き家を活用して雇用先を探す方、1ターン・Uターン者のためのサテライトオフィス<sup>※</sup>の誘致も推進します。

※IT技術の普及により、都市部の職場でなく自宅近くの小型オフィスでネットワークを通じて働くこと。



引き続き  
**元気な篠山**  
に向けて  
取り組みます

これからも標記事項を調査し、市政に反映して参りますので皆さまのご意見をお聞かせください。

### 2 農業振興

「元気な篠山」にするには、農業振興が不可欠です。全国でも有数の知名度を誇る篠山ブランド、丹波篠山黒豆・黒枝豆や山の芋、丹波栗など全国から買い求められます。大消費地・京阪神に近い立地を生かし、篠山ブランドのさらなるPRの展開、6次産業化の推進により魅力的で稼げる農業へ。また、就農ツーリズムや週末農業の実施で、深刻な後継者不足問題解消を目指します。



### 3 観光振興

「元気な篠山」にするには、観光振興が不可欠です。篠山は観光資源の宝庫で、国指定の史跡である篠山城跡や伝統的建造物、伝統産業、四季の変化、豊かな自然環境にも魅了されます。こうした歴史や文化、自然、おいしい食べ物に出会い、学び、楽しむ体験型観光を推進します。そして、日本遺産のまち・篠山の魅力を存分に堪能していただき、ファンの増加とリピーター客の定着を目指します。さらに、京阪神の観光地と連携し、外国人観光客の誘致にも力を入れます。



### 4 高齢者が安心して暮らせるまちづくり

「元気な篠山」にするには、高齢者の方が住み慣れた土地で安心して暮らせるまちづくりが不可欠です。そのため空き家等の利活用で高齢者が集まれる地域コミュニティを形成し、各種サークル活動も実施します。地域コミュニティは生きがいを見つけるだけでなく、災害時には助け合いのきっかけにもなり防災・減災に役立ちます。



※写真はすべてイメージです。

## 皆様の声を市政に活かしてまいります。

皆さまお一人お一人のご意見を市政に反映するために『Tsunagaru(つながる)Tsunageru(つなげる)Project(作戦)』と題したアンケートへのご協力をお願いしております。これからお会いする方々にも、ぜひご協力をいただきますようお願い申し上げます。



皆様にお答えいただいたアンケートは1枚1枚すべて目を通してまいります。

## 吉田ともよ プロフィール

昭和50年生まれ(42歳)  
神戸松蔭女子学院短期大学を卒業後、上場企業の営業事務、専門学校非常勤講師などを経て、2016年4月に篠山市議会議員選・初当選(会派無所属)。会社員時代に損害保険会社のサービスセンターで5,000件以上の相談やトラブル対応を担当した経験は、市民の声を聞く上で大いに役立っている。秘書検定1級、防災士資格保持。ひょうご防災リーダー講座修了。



**SNSでも日々情報を発信しています!**

Facebook: 吉田ともよ Twitter: @yoshida223tomo